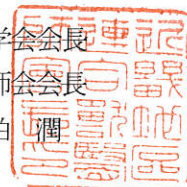


公益社団法人 日本獣医師会 会長 様

平成 27 年度 獣医学術近畿地区学会会長

公益社団法人 大阪府獣医師会会長

佐伯



平成 27 年度 獣医学術近畿地区学会会長賞の選考結果の報告

平成 27 年度 獣医学術近畿地区学会の地区学会会長賞受賞演題等を下記のとおり報告します。

記

【日本産業動物獣医学会（近畿地区）】

演題名：県内で発生した *Mycoplasma bovis* による脳炎の病態解析

受賞者氏名（所属）：瀧 麻香（兵庫県獣医師会）

選考理由：臨床、診断・治療に苦慮している *Mycoplasma bovis* について、病理解剖所見より 3 つのタイプに分類し、今後の診断・治療の展開に新たな道を開いた点が評価された。

【日本小動物獣医学会（近畿地区）】

演題名：免疫介在性血小板減少症の診断における網状血小板比率の有用性

受賞者氏名（所属）：宮 豊（兵庫県獣医師会）

選考理由：骨髄における血小板の再生は骨髄検査以外に証明手段がない。網状血小板比率を求めることで再生を確認できる可能性を示したことは、臨床的に大きな意義がある。

演題名：広範囲の尿道切除に対し包皮と反転陰茎粘膜を用いて再建を行った犬の 2 例

受賞者氏名（所属）：田戸 雅樹（大阪市獣医師会）

選考理由：尿道腫瘍切除後の尿路の再建には苦慮することが多い。管状形成した陰茎粘膜を利用して包皮に導尿する方法は、尿路延長が可能であり、新たな術式を示したと言える。

演題名：橈骨神経断裂を併発した上腕骨遠位粉碎骨折の猫の 1 例

受賞者氏名（所属）：戸次 辰郎（大阪市獣医師会）

選考理由：一次手術に対して初回手術 15 日後に創傷部洗浄と橈骨神経上膜の縫合＋骨折部の一時的創外固定を行い、21 日後に骨折部の内固定を行うという段階手術を計画し、術後 12 週において失われていた固有知覚反応を完全に回復した点について評価した。

演題名：臨床現場における犬の TAT 測定の有効性の検討

受賞者氏名（所属）：福岡 玲（兵庫県獣医師会）

選考理由：犬のトロンビン／アンチトロンビンⅢ複合体（TAT）濃度が人の汎用機器で測定できる可能性を示し、DIC 準備状態の検出や治療のモニタリングとして有効な可能性について示した点について評価した。

【日本獣医公衆衛生学会（近畿地区）】

演題名：シラス加工品の異物（フグ）混入防止対策について

受賞者氏名（所属）：山本 薫（和歌山県獣医師会）

選考理由：魚介物加工品に混入する異物対策として、食品加工過程のみならず、漁船で捕獲する場から加工・流通過程に至るまで対策を講じるなど意欲的な取り組みを行ったことを高く評価した。

演題名：路上死亡猫頭数を活用した猫の適正飼養啓発方法

受賞者氏名（所属）：岡本 裕行（京都府獣医師会）

選考理由：路上死亡のリスクが高まることを掲げることで住民の猫適正飼養への意識を高める試みを行った。これまでになく方策を提案した独自性とそれに対する意欲的な取り組みに対し高い評価を与えた。

注：地区学会長賞の報告にあたっては、選考理由を詳しく記述してください（別紙に記載も可）。